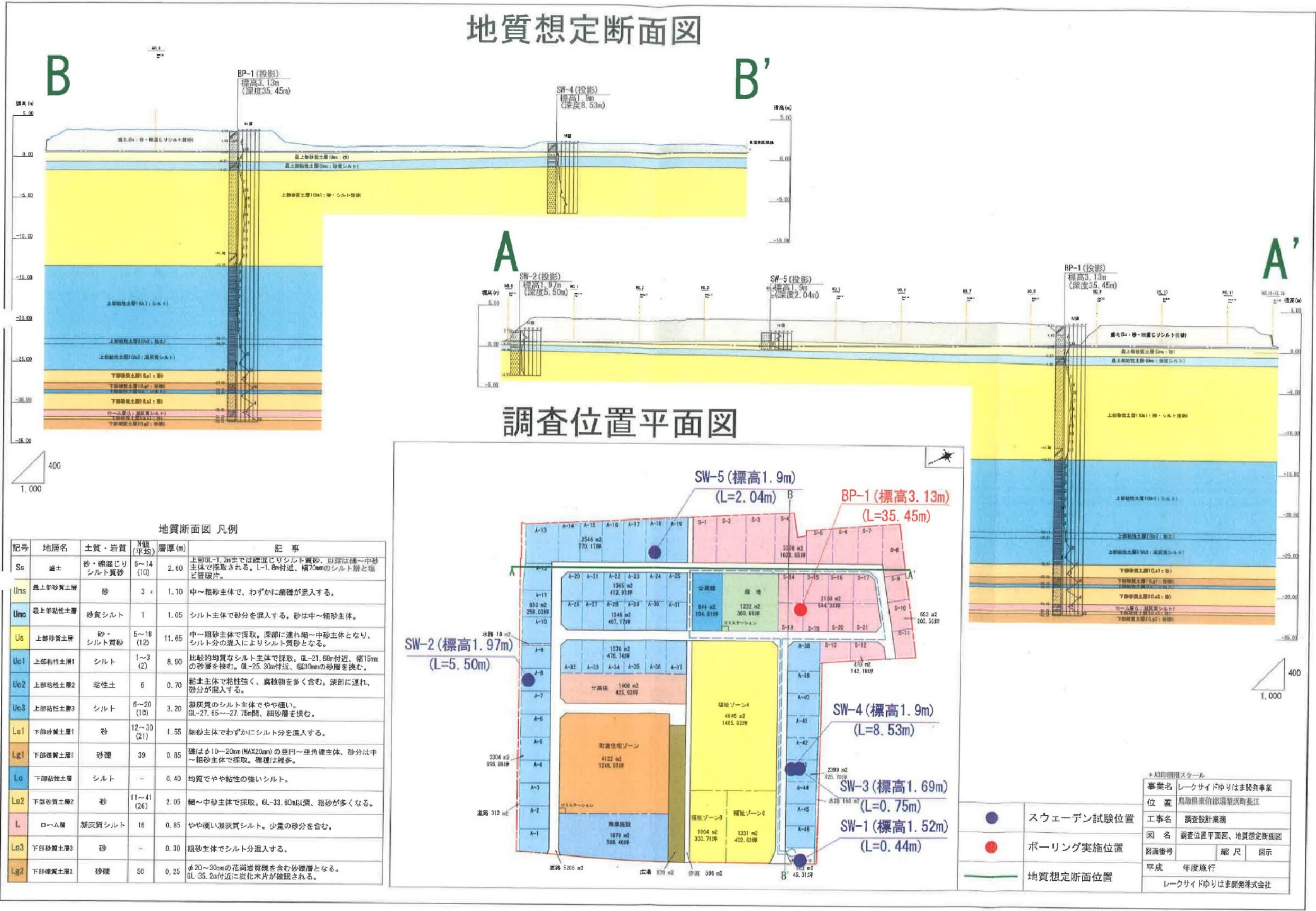


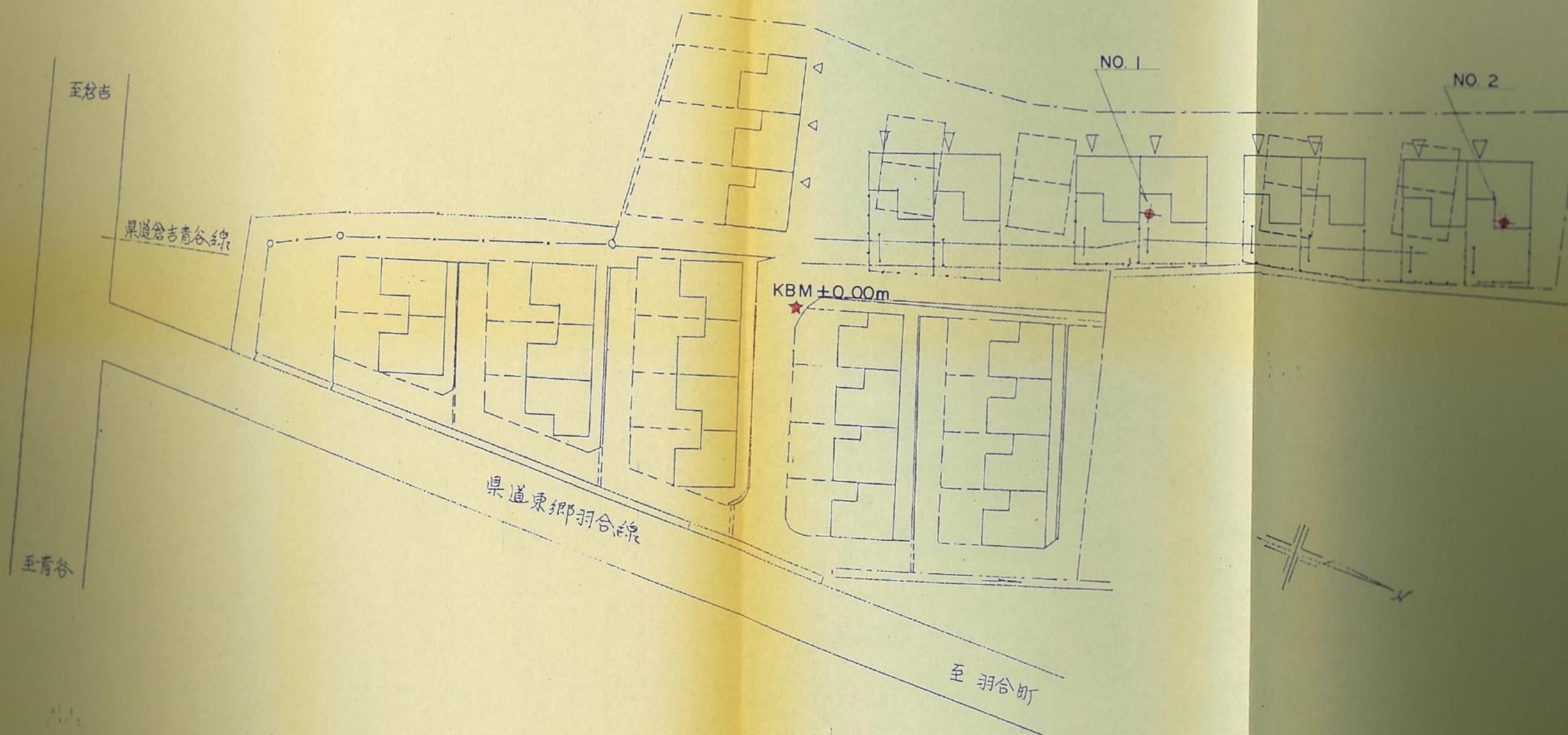
別添資料②：地質調査資料

■新・長江団地用地



昭和58年度 町営住宅建設地質調査

ボーリング調査位置図



NO. 1

地質柱状図

調査件名： 昭和58年度
町営住宅建設地質調査

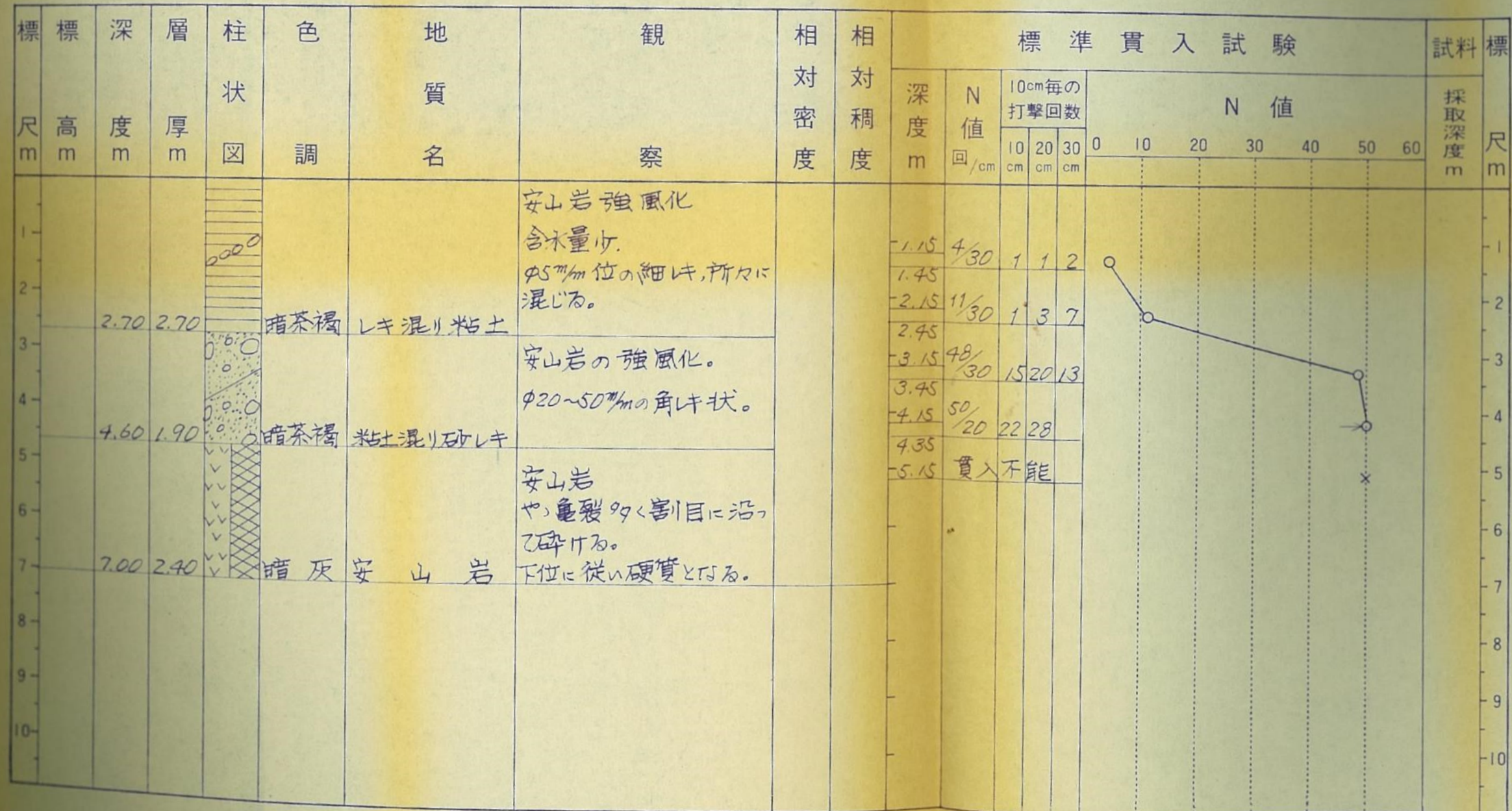
調査地点：

調査期間：昭和58年 8月 1日～昭和58年 8月 3日

地盤標高： KBM + 1.466 m

調査場所：

孔内水位： GL - 2.50 m (8月3日8時)



NO. 1

NO. 2

地質柱状図

調査件名： 昭和58年度
町営住宅建設地質調査

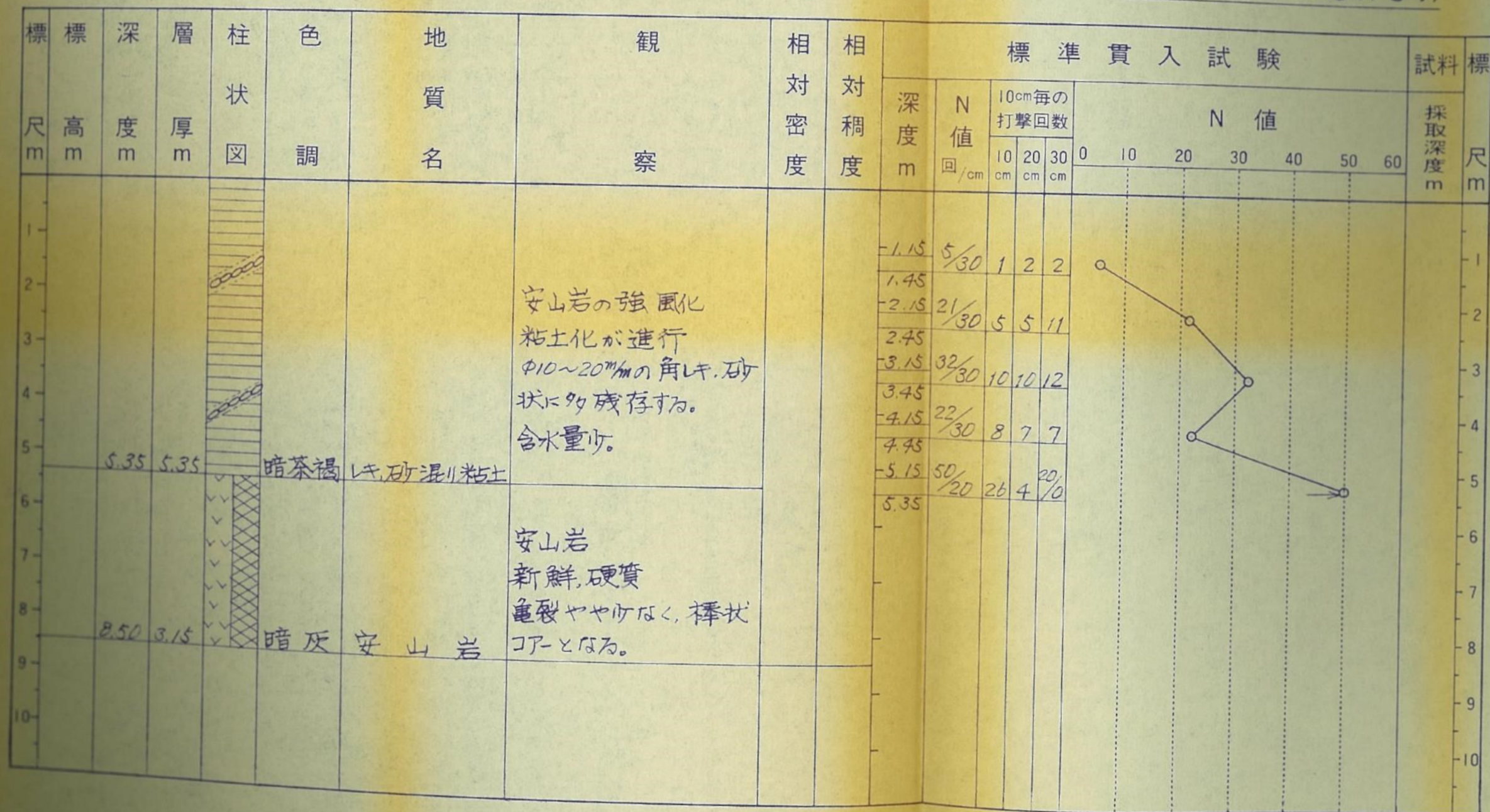
調査期間：昭和58年 8月 4日～昭和58年 8月 8日

調査場所：

調査地点：

地盤標高： KBM + 1.242 m

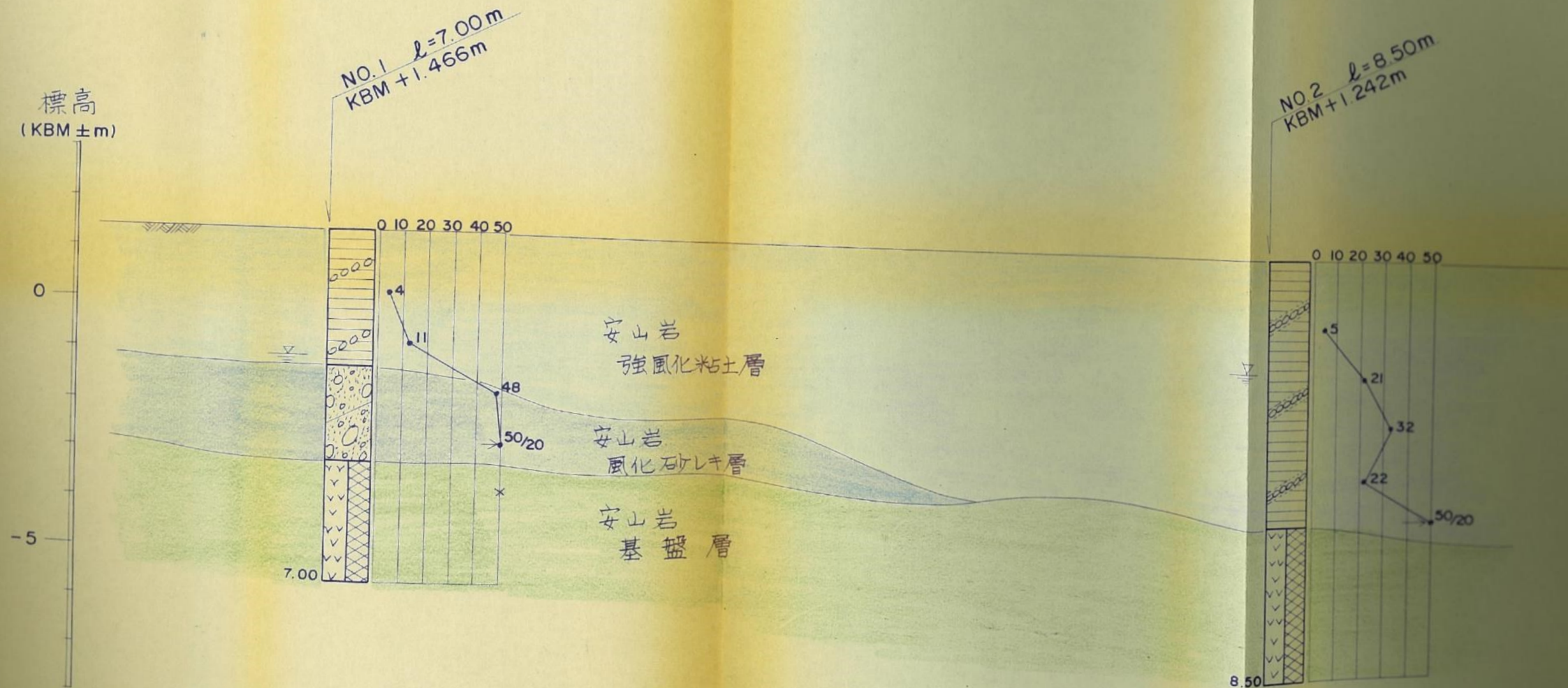
孔内水位： GL - 9.30 m (8月8日 8時)

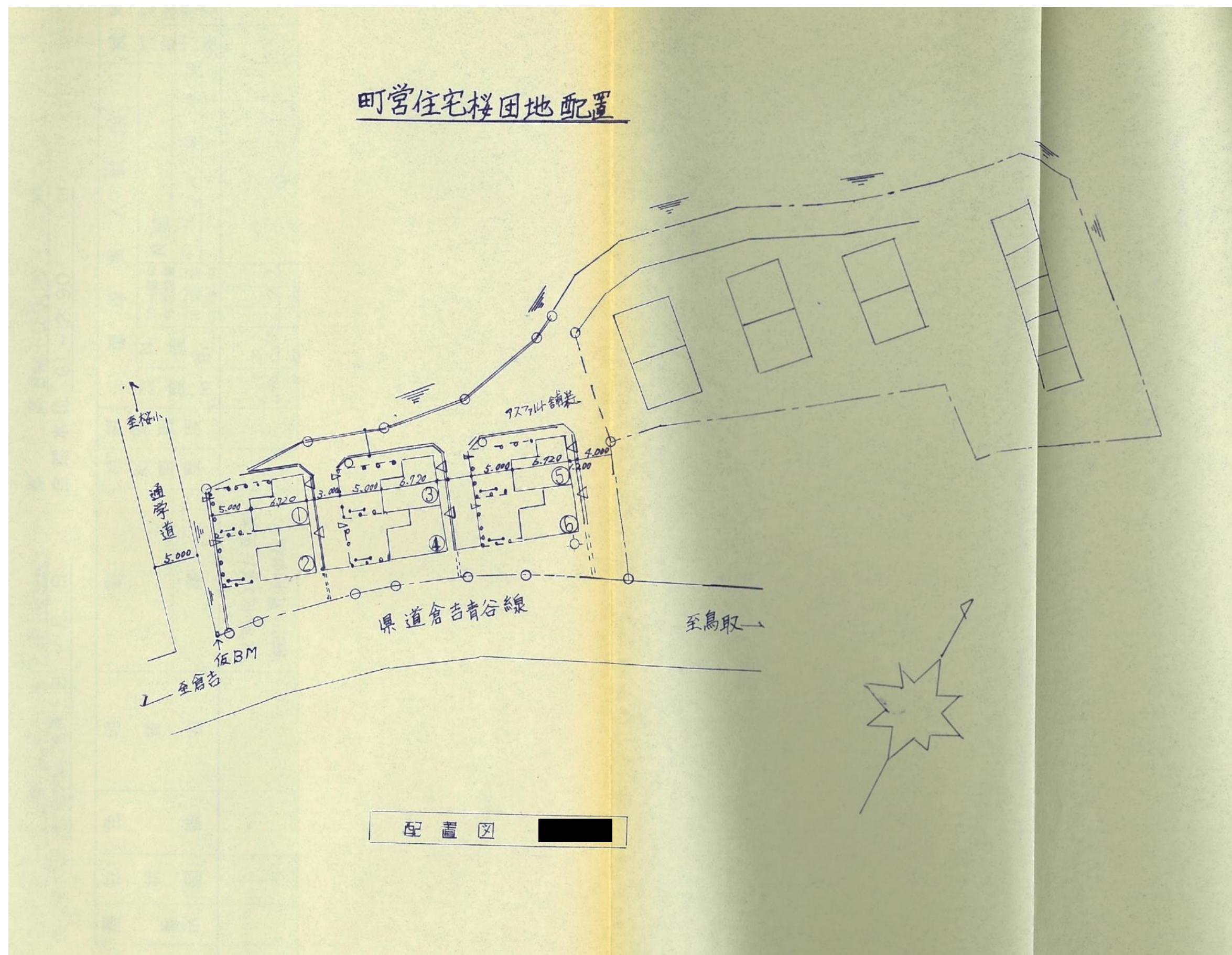


NO. 2

昭和58年度 町営住宅建設地質調査

地質断面図 縮尺 $V = 1/100$
 $H = 1/200$





昭和56年度
公営住宅建設地質調査

地質柱状図 (No. 1)

調査地点 東伯郡東郷町大字松山奇(校用地)
調査年月日 昭和56年 6月 日 ~ 月 日

標 高 BM+0.906 m
自然水位 GL-2.90 m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 準 貫 入 試 験										試 料		
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値						採取 方法	採取 深度 m
												10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50		
1				△△△			強風化した固結 粘土と思われる。			1.15	20/											
2				△△△			特別にたかく、含水も ひくい。		軟	1.45	30/	6	7	7								
3				△△△			風化片を混入している。			2.15	50/	15	21	29								
4				△△△						2.30	15/											
5				△△△						3.15	50/											
6				△△△						3.35	20/	18	32									
7		6.50	6.50	△△△	茶褐色	強風化 安山岩				4.15	50/											
8				△△△						4.40	25/	12	17	21								
9				△△△						5.15	50/											
10				△△△						5.37	22/	17	24	29								
11		7.00	0.50	△△△	"	風化 安山岩	風化を受け若干軟かい。		軟	6.15	50/											
12				△△△						6.22	12/	40	2									

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- ①-1 シンウォールサンプラーによる試料
- ①-2 デニソンサンプラーによる試料
- 3 貫入試験器による試料
- 4 コア-試料

2. 試料採取深度と回収比

3. 20	3. 20 - 3. 70 は試料採取深度 (m)
45 / 50	45 / 50 は回収比 (50cm : 貫入深さ、45cm : 試料長さ)
3. 70	

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

4. △ 自然水位をあらわす。

地質柱状図 (NO. 2)

調査地点 東伯郡東郷町大宮松崎(校用地)
調査年月日 昭和56年 6月 日 ~ 月 日

標 高 BM + 0.262 m
自然水位 GL - 2.45 m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 準 貫 入 試 験										試 料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打 撃 回 数			N 値						採取 方法	採取 深度 m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
												10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10							上部は極めて軟質で 含水に多い。 下部は含水多い 若干の風化しきを混入 粘着力中〜大 茶褐色 粘 土 1〜3cmの短柱状のコア となり比較的硬い。 暗靑灰色 安 山 岩		軟 か い 中 位 硬	・ 1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.15 4.40	4 30 4 30 6 30 50 25	1 1 1 2 2 2 10	1 1 2 2 2 18	2 2 2 22 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									</

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- ①—1 シンウォールサンプラーによる試料
①—2 デニソンサンプラーによる試料
●—3 貫入試験器による試料
●—4 コア—試料

2. 試料採取深度と回収比

3. 20	3. 20—3. 70	は試料採取深度 (m)
45 / 50	45 / 50	は回収比 (50cm : 貫入深さ、45cm : 試料長さ)
3. 70		

3. 標準貫入試験の項で 10cm 毎の打撃回数とは最初の 10cm 貫入に要した打撃回数、10cm〜20cm の間で要した打撃回数、20cm〜30cm の間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

4. ∇ 自然水位をあらわす。

昭和56年度
公営住宅建設地質調査

地質柱状図 (No. 3)

調査地点 東伯郡東郷町大字松崎(校用地)
調査年月日 昭和56年 6月 日～ 月 日

標 高 BM+0.084 m
自然水位 GL-2.15 m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験										試料		
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎に 打撃回数			N 値						採取 方法	採取 深度m
												10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50		
1							含水に多く非常にやわらかい 若干の砂を混入する。		軟 かい	1.15	4/30	2	1	1								
2										1.45												
3		2.90	2.90		茶褐色	粘土				2.15	3/30	1	1	1								
4							安山岩の転石で極めて かたい。			2.45												
5		5.30	2.40		暗灰色	転石																
6							安山岩の強風化で粘土 化し含水に多く 極めて軟かい。 粘着カ大である。		中 位 く 非 常 に か た い	6.15	23/30	5	7	11								
7										6.45												
8										7.15	16/30	4	6	6								
9										7.45												
10										8.15	5/30	1	2	2								
11										8.45												
12										9.15	8/30	2	3	3								
13										9.45												
14		10.60	5.30		茶褐色	粘土				10.15	20/30	6	7	7								
15							粘土成分が多く混入し ている。 全体には砂を主体 とする。 強風化を多く混入する。		中 位 く 密 な な	10.45												
16										11.15	16/30	5	5	6								
17										11.45												
18										12.15	40/30	9	16	15								
19										12.45												
20										13.15	43/30	9	14	20								
21										13.45												
22										14.15	48/30	12	15	21								
23										14.45												
24		15.50	4.90		暗灰色	粘土混り砂礫				15.15	44/30	10	15	19								
25							全体に強風化しており 粘土を主体とするが、 かたい。 風化礫を混入している。 安山岩の風化土である。		極 軟	15.45												
26										16.15	38/30	8	13	17								
27										16.45												
28										17.15	50/22	17	24	9/2								
29										17.37												
30										18.15	50/23	16	21	13/3								
31										18.38												
32										19.15	50/23	18	22	10/3								
33										19.38												
34										20.15	45/30	10	15	20								
35										20.45												
36										21.15	49/20	17	30									
37										21.35												
38										22.15	50/16	27	23	6								
39										22.31												
40										23.15	50/23	15	25	10/3								
41										23.38												
42										24.15	50/25	15	19	16/3								
43										24.40												
44		25.70	10.20		黄褐色	強風化安山岩				25.15	50/23	17	25	8/3								
45							マサ土化しているが、 良く締まっている コアは砂状となる。		軟	25.38												
46										26.15	50/12	13	37	2								
47										26.27												
48										27.15	50/8											
49										27.23												
50										28.15	50/8											
51										28.23												
52		29.10	3.40		黄灰色	風化花崗岩				29.00	51/10											
53										29.10												
54																						
55																						
56																						
57																						
58																						
59																						
60																						
61																						
62																						
63																						
64																						
65																						
66																						
67																						
68																						
69																						
70																						
71																						
72																						
73																						
74																						
75																						
76																						
77																						
78																						
79																						
80																						
81																						
82																						
83																						
84												</										

昭和56年度

公営住宅建設地質調査

地質柱状図 (NO. 4)

調査地点 東伯郡東郷町大字松崎(桜田地)

調査年月日 昭和56年 6月 日 ~ 月 日

標高 BM + 0.234 m
自然水位 GL - 2.15 m

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験							試料					
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎に 打撃回数			N 値					採取 方法	採取 深度 m	
												10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40			50
1							粘土を主体とする盛土 と思われる。		軟 かい	1.15 1.45	3/30	1	1	1								
2		2.80	2.80		茶褐色	盛土(粘土)				2.15 2.45	4/30	1	1	2								
3							安山岩の片と盛土と 部分と思われる。 貫入試験は不能で ある。															
4																						
5																						
6		6.70	3.90		"	盛土(碎石)																
7							風化著しく粘土化して いる。			7.15 7.38	50/23	12	27	11/3								
8							部分的には風化片と 呈する所も見られる。			8.15 8.35	50/20	16	34									
9					茶褐色		全体には、含水多く、 固結しているため、 締つてかたいが部分的に 風化が極めて進み完全に 粘土となり軟かい所も 見られる。		極 軟	9.15 9.45	20/30	6	7	7								
10										10.15 10.45	45/30	8	15	22								
11										11.15 11.45	28/30	7	9	12								
12										12.15 12.45	31/30	7	11	13								
13										13.15 13.45	33/30	10	12	11								
14										14.15 14.40	50/25	14	19	17/5								
15										15.15 15.45	46/30	10	15	21								
16										16.15 16.48	46/30	12	15	19								
17		17.50	10.80		赤褐色	強風化安山岩				17.15 17.45	51/30	11	19	21								
18							風化著しくマサ土化して いる。コアは砂状化する。		軟	18.15 18.37	50/22	8	16	26/2								
19										19.15 19.35	48/20	18	30									
20		20.35	2.85		黄褐色	風化花崗岩				20.15 20.35	47/20	18	29									

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- ①-1 シンウォールサンプラーによる試料
①-2 デニソンサンプラーによる試料
①-3 貫入試験器による試料
●-4 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20 3.02-3.70 は試料採取深度 (m)
45/50 45/50 は回収比 (50cm: 貫入深さ, 45cm: 試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で 10cm毎の打撃回数とは最初の 10cm 貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれ示したものである。

4. 自然水位をあらわす

昭和56年度
公営住宅建設地質調査

地質柱状図 (NO. 5)

調査地点 東伯郡東郷町大字松崎(校用地)
調査年月日 昭和56年 6月 日 ~ 月 日

標 高 BM +1.147 m
自然水位 GL -3.10 m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験										試料		
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値						採取 方法	採取 深度m
										深度 m	N 値 回/cm	10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50		
1				△△			安山岩の強風化部で 粘土化し一部粘土を 混入する。	極 軟		1.15 1.45	44 30	12	13	19								
2		2.30	2.30	△△	茶褐色	強風化安山岩				2.15 2.27	50 12	30	20	2								
3				△△			熔岩の様相を示す風化 部で新鮮で硬い。	硬														
4		3.80	1.50	△△	暗灰色	安山岩				4.15 4.25	50 10											
5				△△			強風化部で粘土化して いる。若干の粘土を混入する。 含水低く固結する。	極 軟		5.15 5.25	50 10											
6		6.70	2.90	△△	茶褐色	強風化安山岩				6.15 6.45	19 30	6	7	6								
7				△△			新鮮な部分で硬く コアは1~5cm位の 棒状となる。	硬														
8				△△																		
9				△△																		
10		10.00	3.30	△△	暗灰色	安山岩																

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

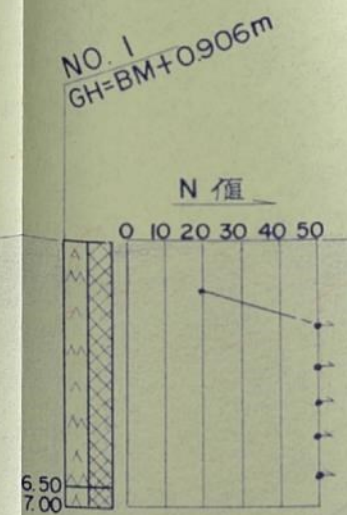
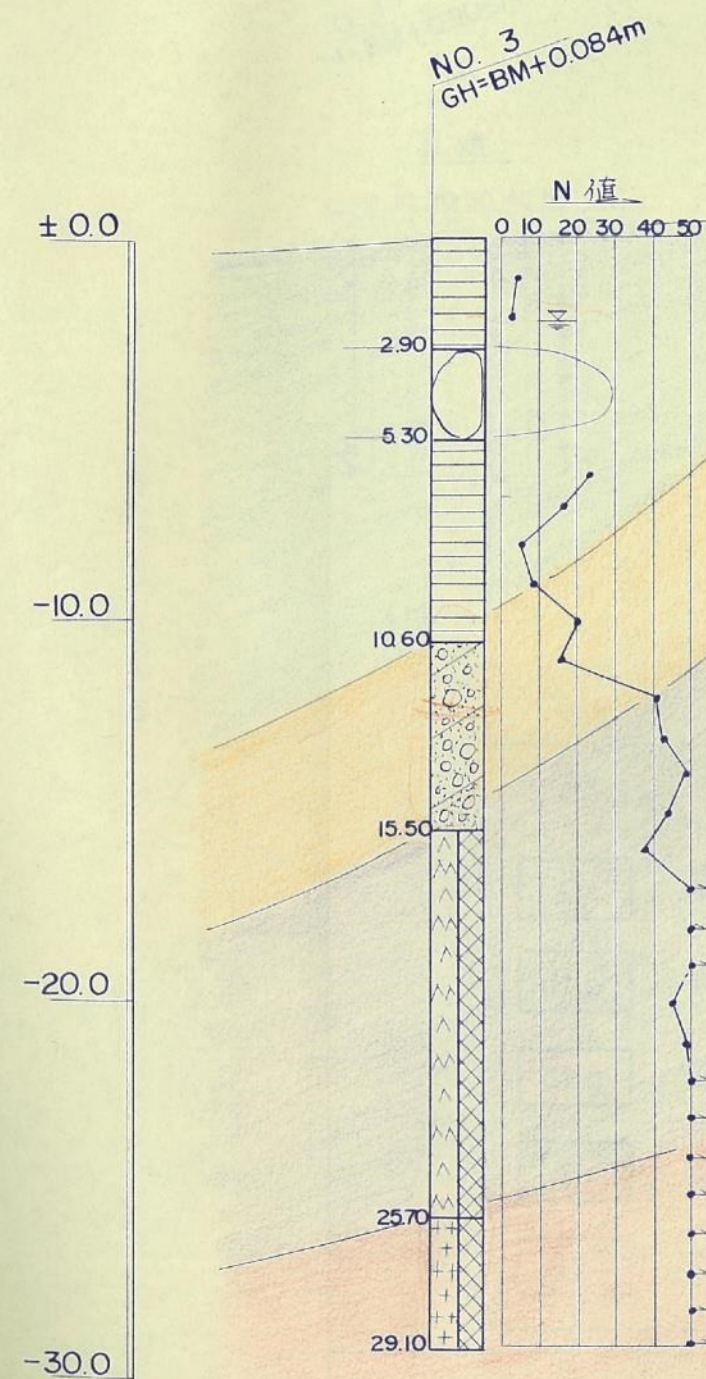
- ①-1 シンウォールサンブラーによる試料
- ①-2 デニソンサンブラーによる試料
- 3 貫入試験器による試料
- 4 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20 - 3.70	は試料採取深度 (m)
45 / 50	45 / 50	は回収比 (50cm : 貫入深さ、45cm : 試料長さ)
3.70		

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

4. ∇ 自然水位をあらわす。

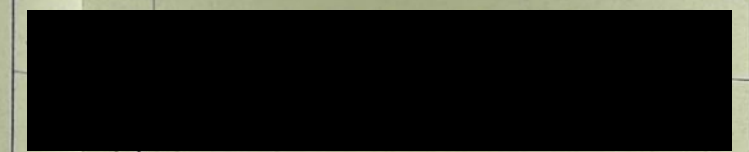


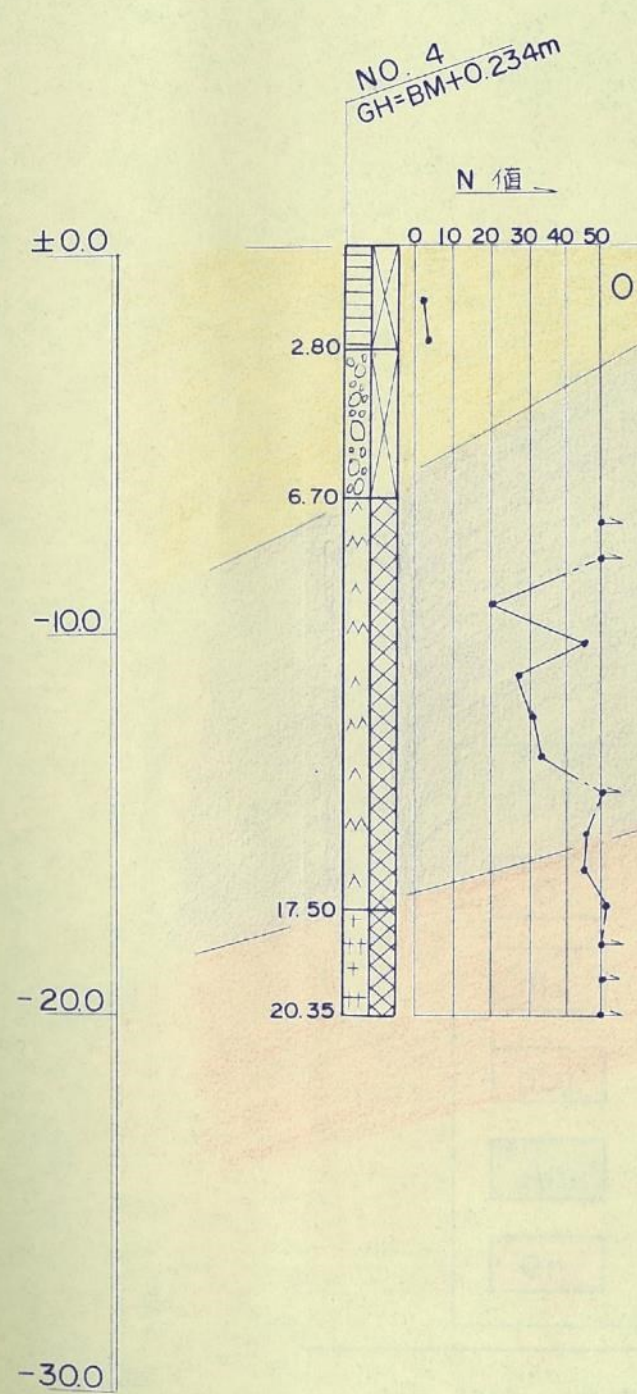
凡 例

○	盛 土
dt.c	粘 土
dt.g	砂 礫
An	安 山 岩
Gr	花 崗 岩

昭和 56 年 公営住宅建設地質調査(桜田地)

図面名 地質想定断面図

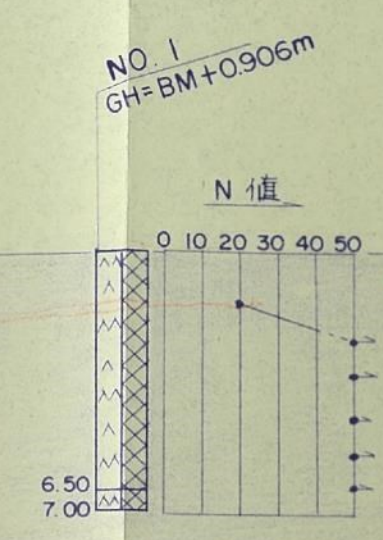




O (盛土)

An

Gr



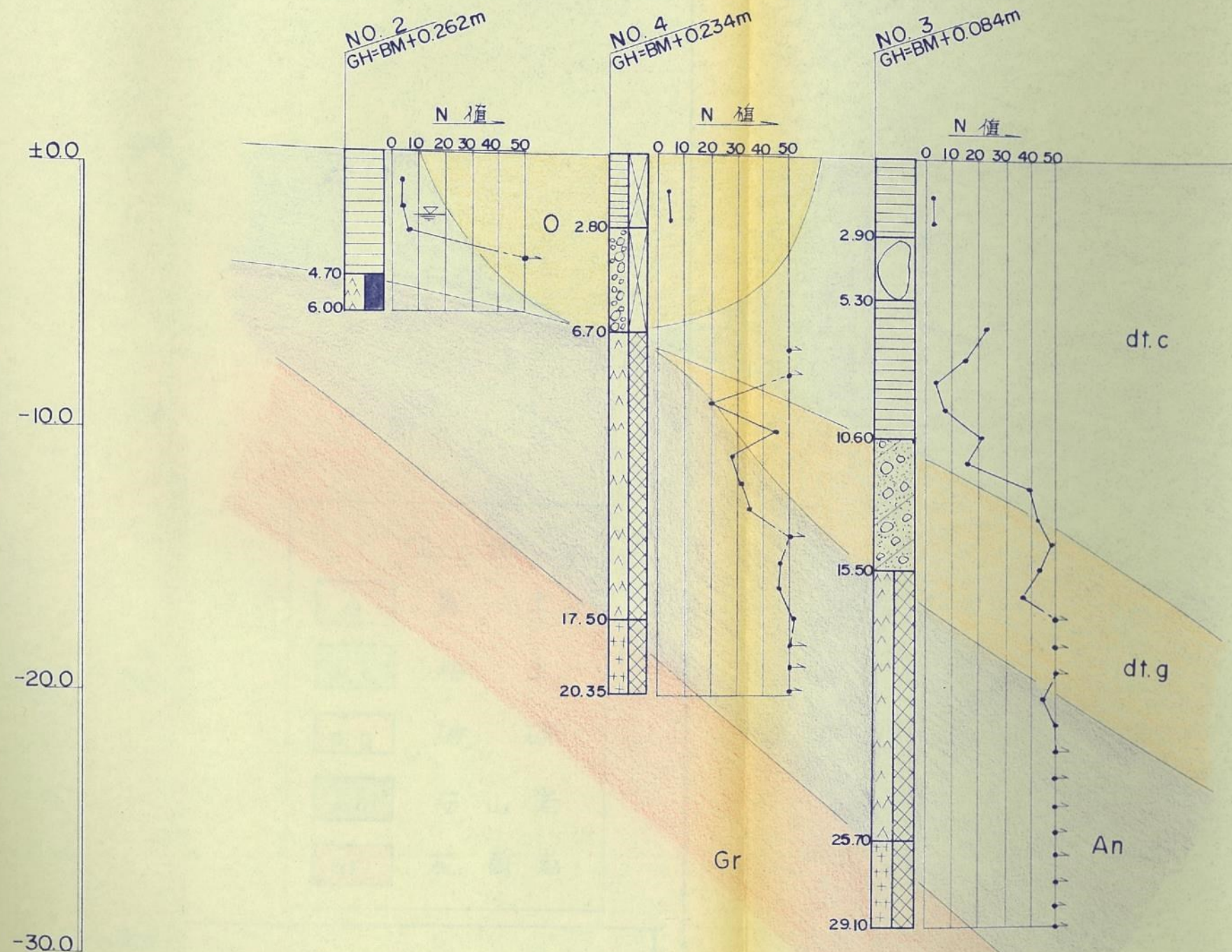
凡例

O	盛土
dt.c	粘土
dt.g	砂礫
An	安山岩
Gr	花崗岩

昭和56年度 公営住宅建設地質調査(桜園地)

図面名 地質想定断面図

[Redacted]

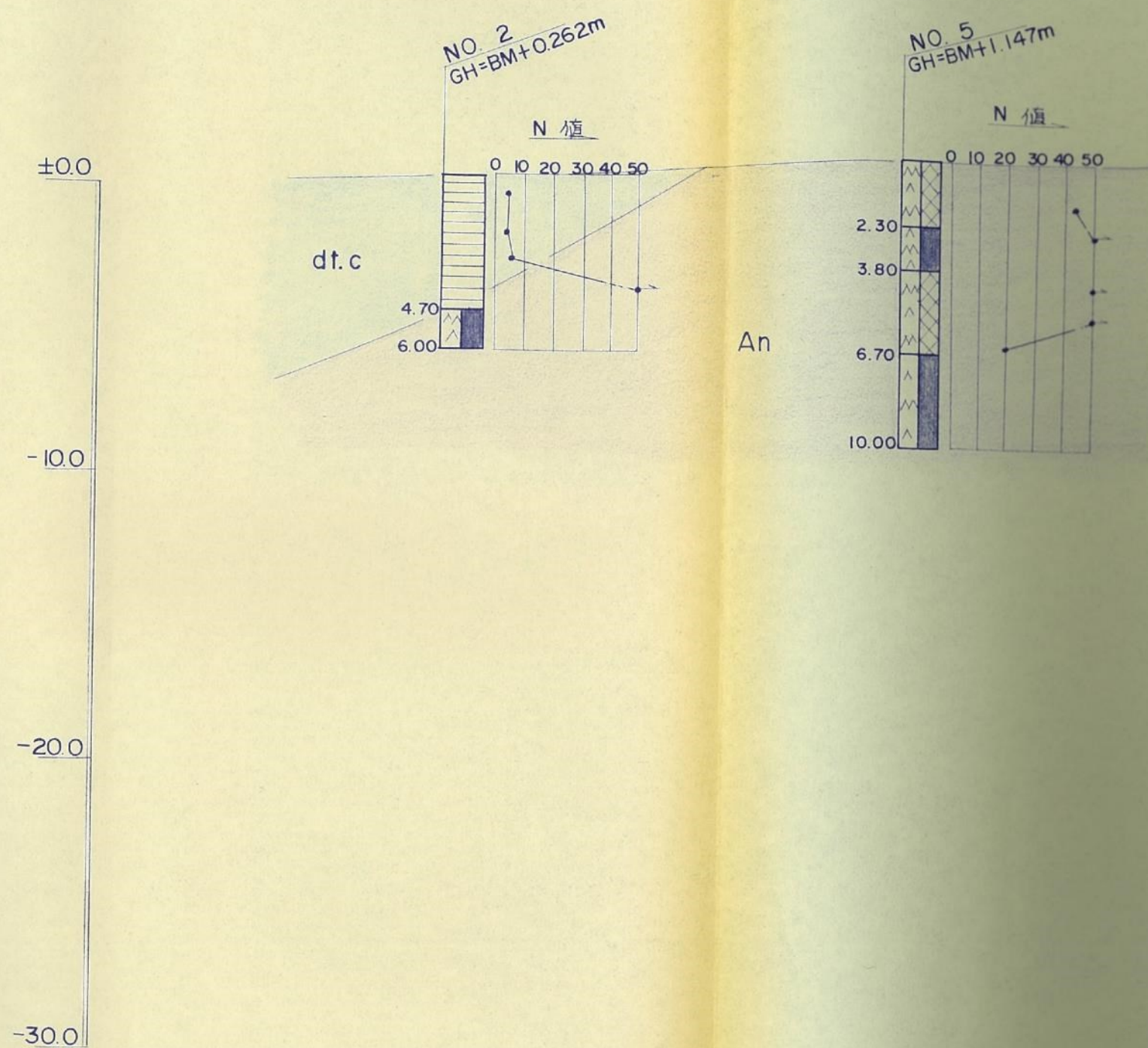


凡 例	
O	盛 土
dt.c	粘 土
dt.g	砂 礫
An	安 山 岩
Gr	花 崗 岩

昭和56年 公営住宅建設地質調査(桜岡地)

図面名 地質想定断面図





凡 例

○	盛 土
dt.c	粘 土
dt.g	砂 礫
An	安 山 岩
Gr	花 崗 岩

昭和 56 年度 公営住宅建設地質調査(桜団地)

図名 地質想定断面図